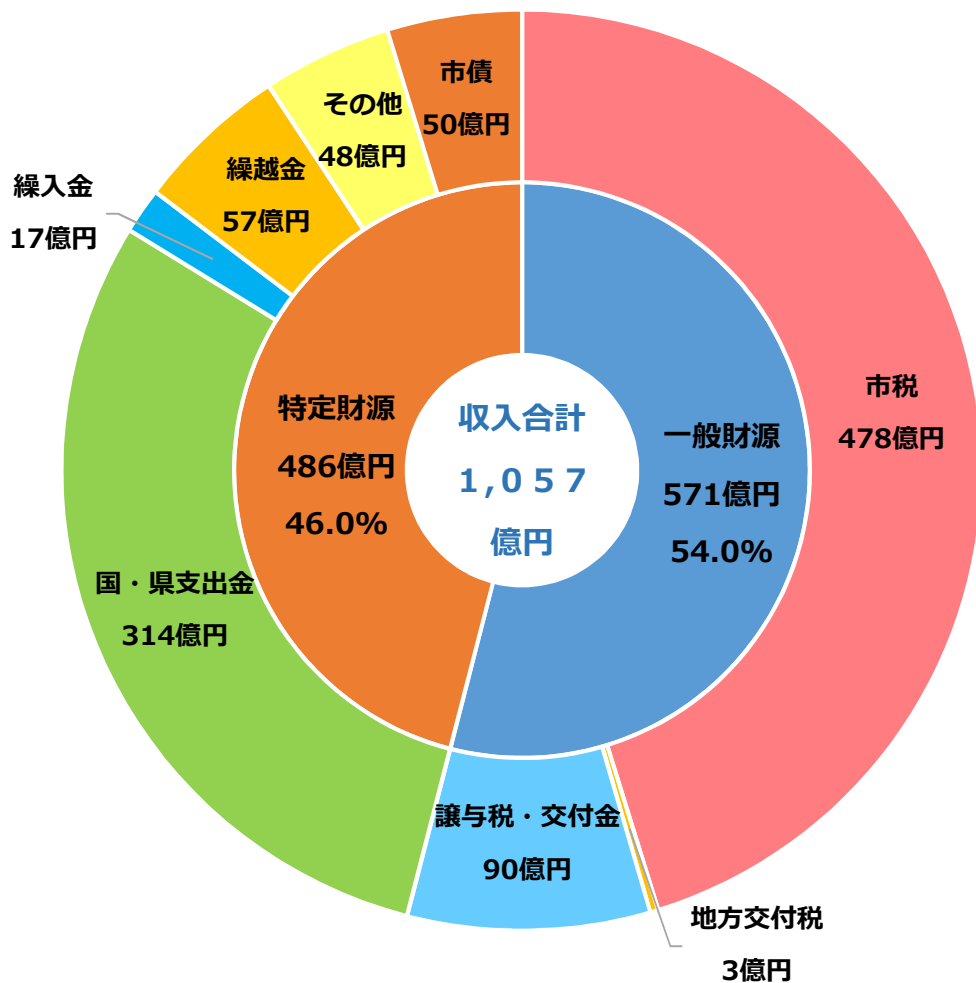




# 1 一般会計の収入



## <一般財源>

- 市税 市内にお住いの個人や市内に事業所がある法人が納める市民税や、土地や家屋などを持っているからに納めていただく固定資産税など、市民の皆さんに負担いただくお金
- 地方交付税 地域ごとの格差を解消するため、国から財源が足りない地方公共団体へ交付されるお金
- 譲与税・交付金 国税・県税として徴収してから、一定割合を市町村に配分されるお金

## <特定財源>

- 国・県支出金 特定の事業に対して、国や県から使い道を指定して交付されるお金
- 繰入金 基金の取り崩しや、特別会計から繰り入れるお金
- 繰越金 前年度の決算で、剰余金として翌年度に繰り越されたお金
- その他 分担金・負担金や使用料・手数料など
- 市債 学校や市民利用施設、道路や公園など、長い間利用される市の施設を整備するために借り入れたお金

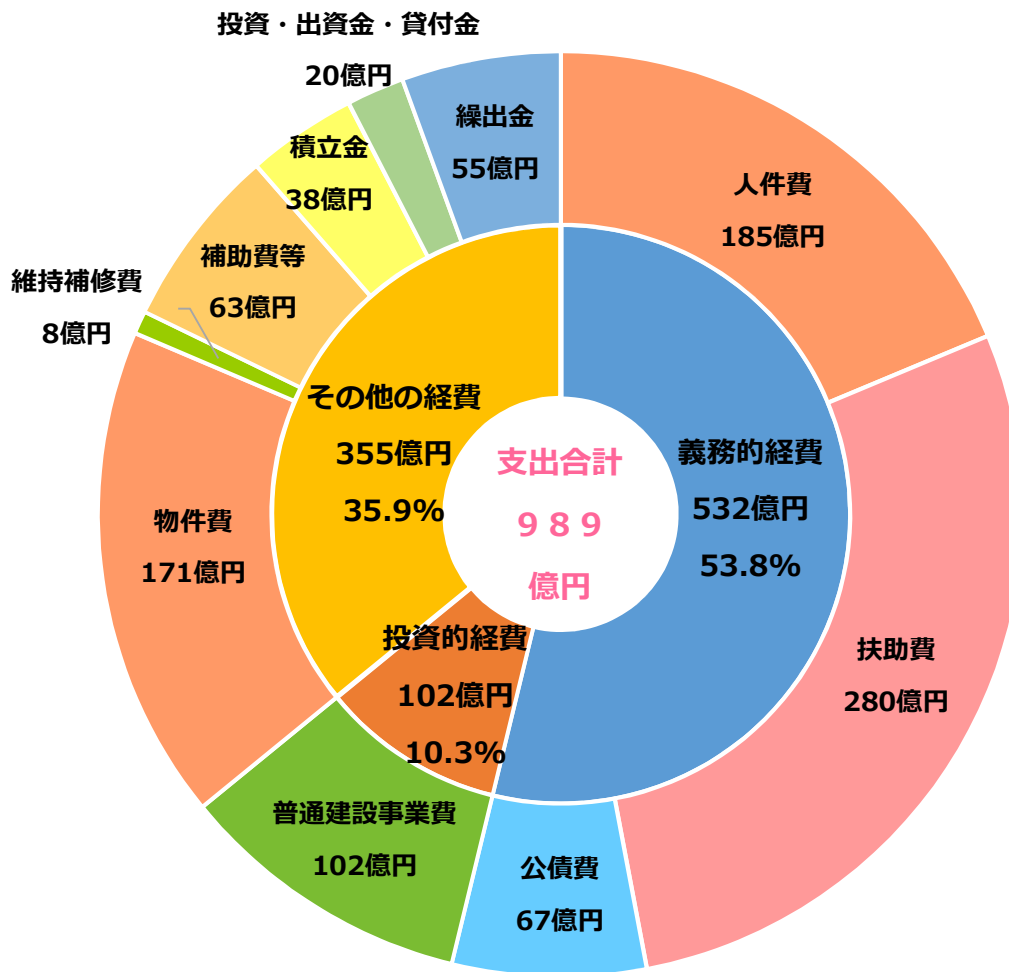
### 【一般財源、特定財源とは・・・】

一般財源とは、市税や国等から配分される譲与税・交付金などで、用途を特定されず、地方公共団体の裁量で各種行政サービスに配分できるお金です。

特定財源とは、国・県支出金など、用途が特定されているお金です。

つくば市の一般財源は、571億円、収入合計の54.0%を占めています。

## 2 一般会計の支出（性質別）



### <義務的経費>

#### <義務的経費>

人件費  
扶助費  
公債費

職員の給料や退職金などの費用  
児童手当、生活保護、保育所・幼稚園などの運営や医療費の援助などの費用  
過去の借入金の返済のための費用

### <投資的経費>

普通建設事業費

学校や市民利用施設、道路や公園などの整備や維持修繕などに必要な費用

### <その他の経費>

物件費  
その他  
繰出金

市民利用施設の運営や市民サービスのほか、庁舎の管理や事務に必要な費用  
維持補修費、補助費等、積立金など  
一般会計から、一定のルールにより特別会計や公営企業会計に支出した費用

### 【義務的経費とは・・・】

一般的には、人件費・扶助費・公債費の3つを指します。

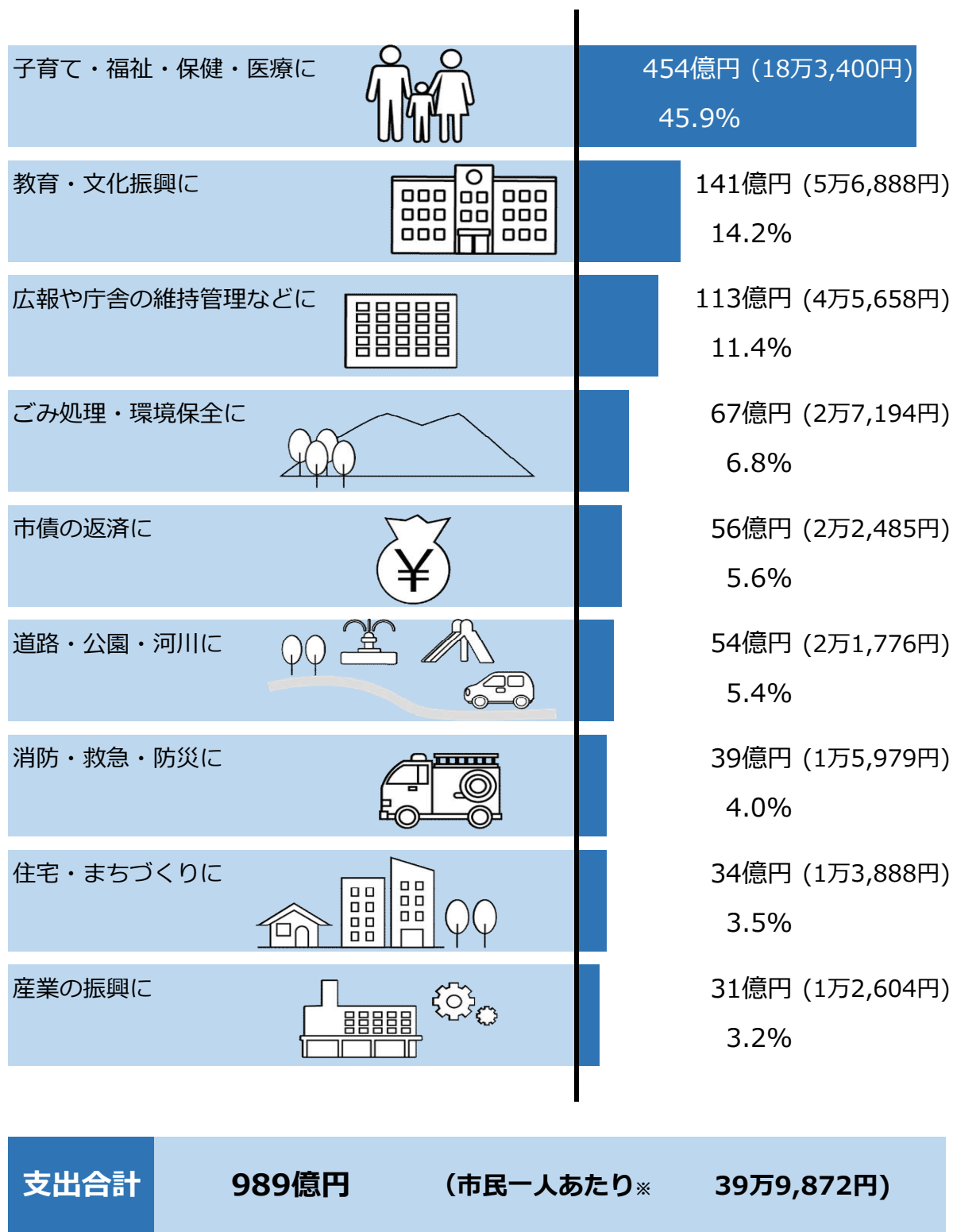
義務的経費は、簡単には削減できない経費のことであり、義務的経費の割合が高いとまちづくりや様々な行政サービスを行うことが難しくなるという影響があります。

つくば市では532億円、支出合計の53.8%を占めており、義務的経費は増加傾向にあります。特に扶助費については、今後も増加が見込まれます。

### 3 一般会計の支出（目的別）

支出はどのような分野の行政サービスに使われているのか『目的別』からも見ることができます。目的別で見ると、子育て支援や福祉、教育、道路・公園やまちづくりなど幅広い分野に使われています。

中でも、『子育て・福祉・保健・医療』のための割合が大きくなっています。



※令和4年3月31日現在の人口24万7,399人で算出した額)

## 4 身近なお金の使い道

### ①「保育所」「幼稚園」

#### 保育所の運営にかかったお金

市の負担とは、国・県支出金や市債等を除いた市税等の一般財源で賄う額です。

【公立保育所】	総額	児童一人当たり (1,726人)	【うち市の負担】
職員給与関係経費	27億0,370万円	1,565,417円	1,339,345円
管理に要する経費	1億5,354万円	88,957円	88,957円
運営に要する経費	3億8,811万円	224,861円	151,049円
合計	32億4,356万円	1,879,235円	1,694,189円

【民間保育所】	総額	児童一人当たり (6,004人)	【うち市の負担】
運営に要する経費	81億1555万円	1,351,691円	329,206円

「保育所の運営」に、公立保育所で約32億円、民間保育所で約81億円かかりました。「児童一人当たりの支出」で見ると、公立保育所で約188万円、民間保育所で約135万円になります。

この他、認可外保育施設を利用する保護者の経済的負担を軽減するため、利用料の一部を給付し、約7,000万円かかりました。

#### 幼稚園の運営にかかったお金

【公立幼稚園】	総額	園児一人当たり (636人)	【うち市の負担】
職員給与関係経費	6億1,685万円	969,850円	969,890円
管理運営に要する経費	7,433万円	116,871円	113,915円
施設整備に要する経費	3,662万円	57,579円	49,481円
その他経費	6,971万円	109,607円	109,387円
合計	7億9,751万円	1,253,947円	1,242,637円

【民間幼稚園】	総額	園児一人当たり (904人)	【うち市の負担】
運営に要する経費	5億7,297万円	633,816円	506,593円

「幼稚園の運営」に、公立幼稚園で約8億円、民間幼稚園で約6億円かかりました。「園児一人当たりの支出」で見ると、公立幼稚園で約125万円、民間幼稚園で約63万円になります。

この他、私立幼稚園に園児を就園させている保護者の経済的負担を軽減するため、利用料の一部を給付し、約4億円かかりました。

## ② 「小・中学校」 「学校給食」

### 小・中学校の運営にかかったお金

	総額	児童生徒一人当たり (21,898人)	【うち市の負担】
就学援助費	1億5,974万円	7,295円	7,003円
教材購入費	2億2,693万円	10,363円	10,180円
維持管理費	16億2,762万円	74,327円	67,092円
建設費	35億4,965万円	162,099円	29,974円
その他	3,254万円	1,486円	1,010円
合計	55億9,647万円	255,570円	115,259円

「小・中学校の運営」に、約56億円かかりました。

「児童生徒一人当たりの支出」で見ると、約26万円になります。

### 学校給食にかかったお金

	総額	児童生徒一人当たり (22,534人)	【うち市の負担】
幼稚園・小中学校	23億1,883万円	102,904円	57,466円

「学校給食」に、約23億円かかりました。

「児童生徒一人当たりの支出」で見ると、約10万円になります。

## ③ 「消防・救急」

### 消防・救急にかかったお金

	総額	市民一人当たり (247,399人)	【うち市の負担】
消防・救急に係る費用	38億4,840万円	15,555円	14,270円

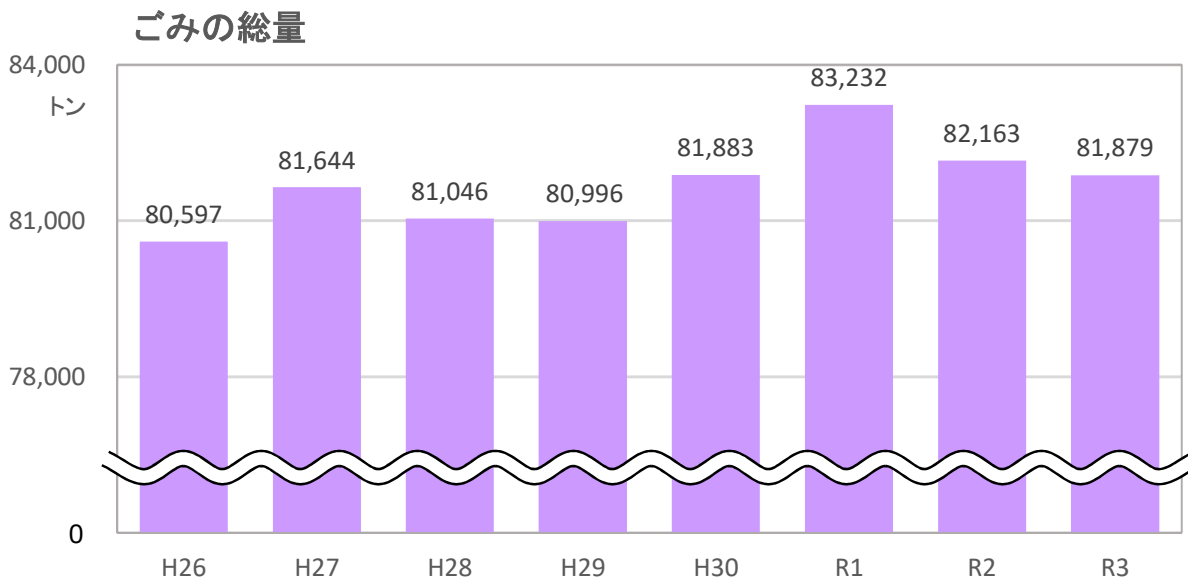
所有消防車	85台	火災件数	84件
所有救急車	11台	救急車出動件数	8,964件

「消防・救急」に、約38億円かかりました。

「市民一人当たりの支出」で見ると、約1.6万円になります。

## ④ 「ごみの処理」

### ごみの処理にかかったお金



	つくば市全体	市民一人当たり (247,399人)	
可燃ごみ	69,985トン	282キロ	
不燃ごみ・粗大ごみ	4,854トン	20キロ	
資源ごみ	71,40トン	29キロ	
合計	81,879トン	331キロ	
<hr/>			
処理費用	24億2,031万円	9,783円	【うち市の負担】 7,101円

「ごみの処理」に、約24億円かかりました。

「市民一人当たりの支出」で見ると、約1万円になります。

## ⑤ 「福祉」「医療」「介護」

### 福祉・医療・介護をささえたお金

	総額	市民1人当たり (247,399人)	(うち市の負担)
【高齢者の福祉】にかかったお金 高齢者のいきがい・健康づくりなど	25億3,246万円	10,236円	9,483円
【障害者の福祉】にかかったお金 障害福祉サービス・補装具の援助など	51億8,034万円	20,939円	6,951円
【高齢者の医療】にかかったお金 後期高齢者医療制度の推進など	20億5,985万円	8,326円	7,318円
【医療福祉（マル福）】にかかったお金 小児、妊産婦などに対する医療費の補助	16億9,687万円	6,859円	3,887円
合計	114億6,952万円	46,360円	27,639円

「高齢者の福祉」や「障害者の福祉」などに、約115億円かかりました。  
「市民1人当たりの支出」でみると、約4.6万円になります。

※市の収入のうち、国・県支出金や市債の借入等を除いた、市税等の収入で賄う金額

### ★特別会計からみた「福祉」「医療」「介護」

	つくば市全体		
国民健康保険の給付	120億677万円	被保険者1人当たり (43,005人)	279,195円
後期高齢者医療の納付	21億5,711万円	被保険者1人当たり (23,078人)	93,471円
介護保険の給付	125億8,847万円	認定者1人当たり (7,937人)	1,586,049円
合計	267億5,235万円		

一般会計とは別にしている「特別会計」においても「福祉」「医療」「介護」にお金が使われています。令和3年度においては、「国民健康保険の給付」「後期高齢者医療の納付」「介護保険の給付」に約268億円が使われました。

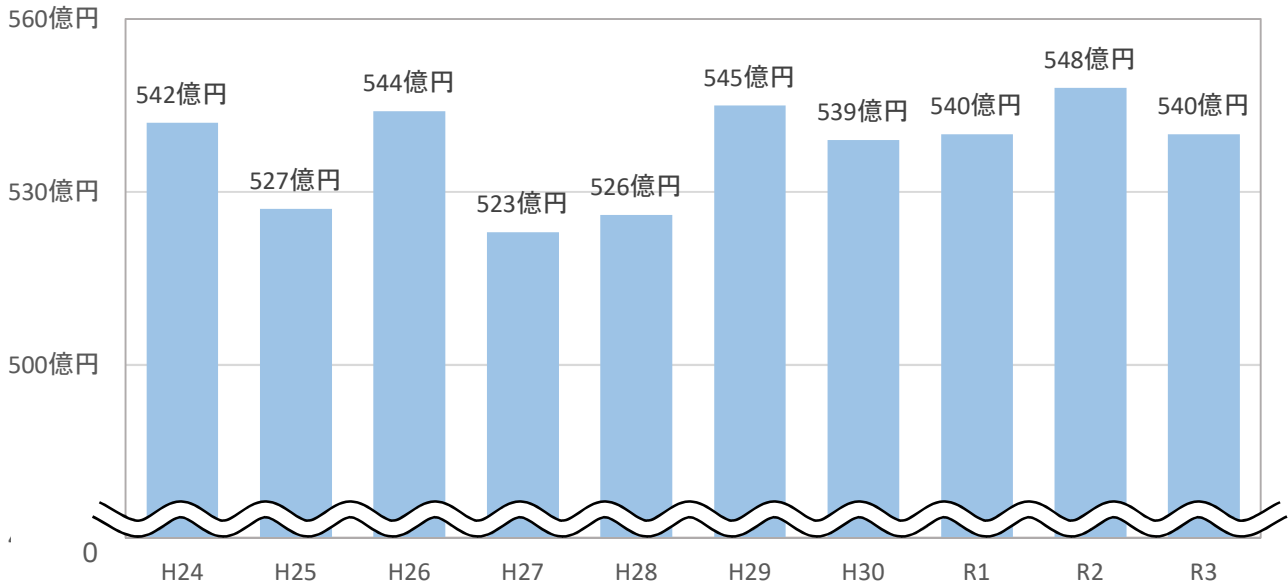
なお、特別会計については、11ページからの特別編も御覧ください。



## 5 借金と貯金の残高

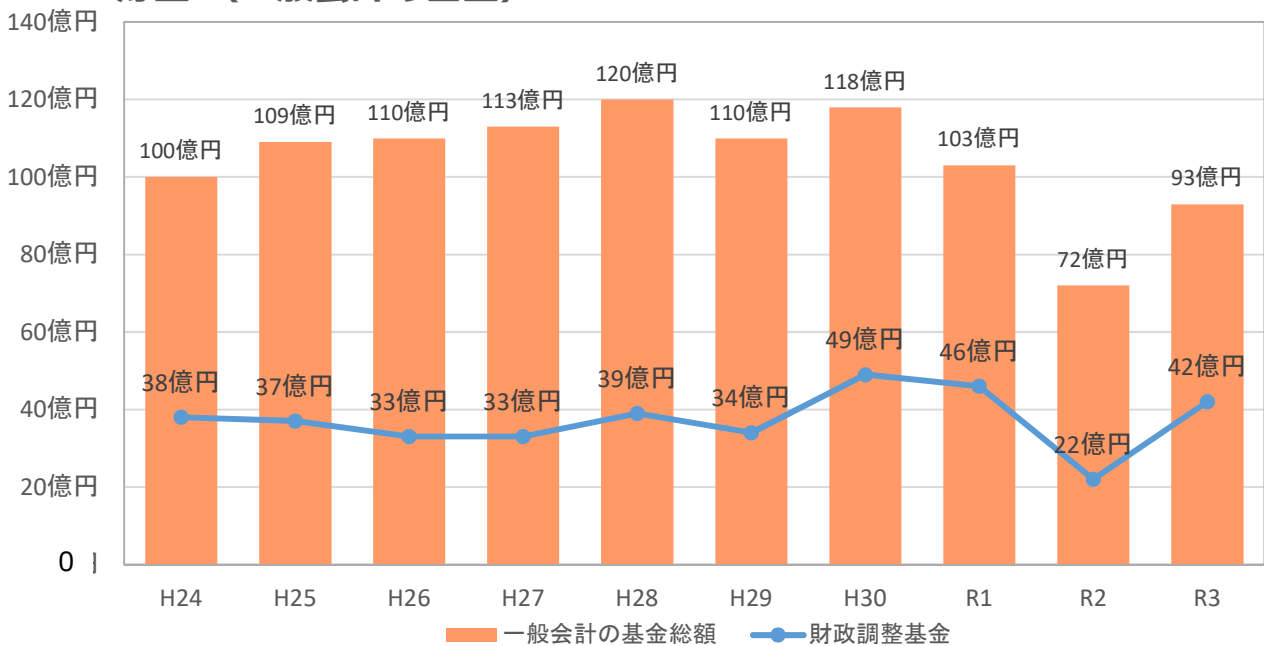
つくば市の借金（市債）は540億円あります。  
市民一人当たり218,290円となっています。

### 借金（市債）



つくば市の貯金（一般会計の基金）は93億円あります。  
市民一人当たり37,570円となっています。

### 貯金（一般会計の基金）



## 6 財政健全化の比率

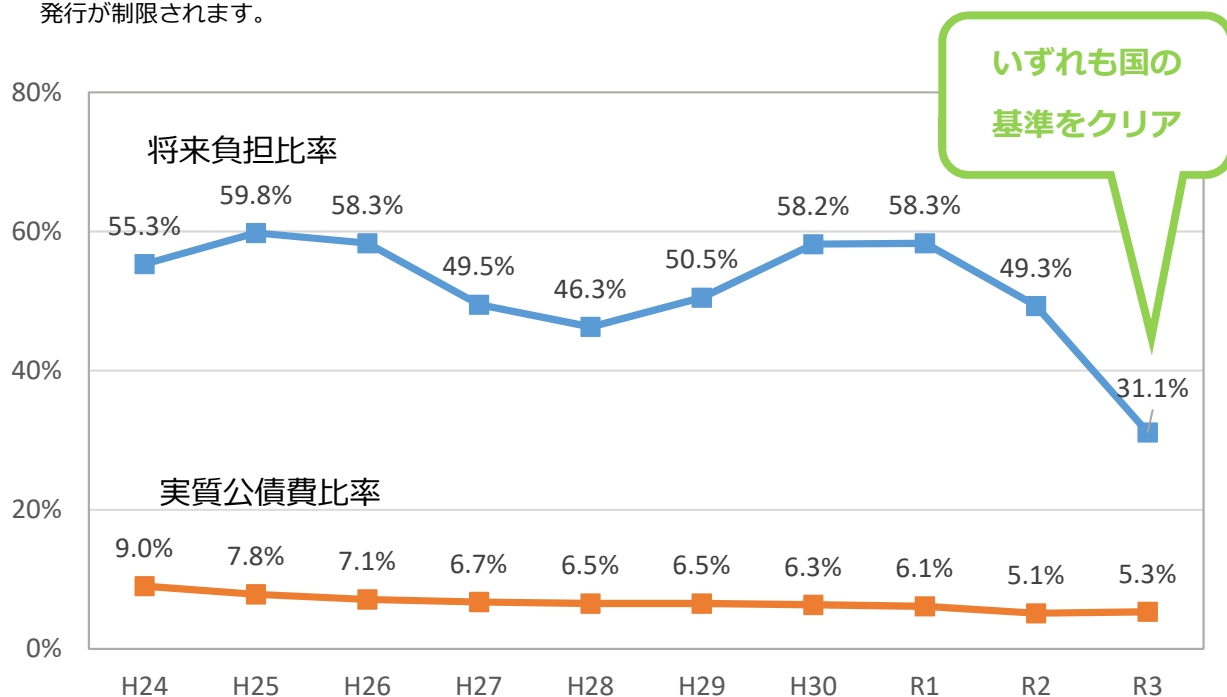
つくば市の財政は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められている5つの指標について、いずれも国の定める基準をクリアしています。

将来負担比率が大きく減少した要因としては、つくば市土地開発公社が取得した土地に対する借入金（約68億円の債務）の返済が完了したことで、将来における債務保証が解消されたためです。

	つくば市	国の定める基準	
		早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
<b>実質赤字比率</b>	—		
財政規模に対する 福祉や教育など一般会計の <u>赤字割合</u>	(黒字)	11.25%	20.00%
<b>連結実質赤字比率</b>	—		
財政規模に対する全会計の <u>赤字割合</u>	(黒字)	16.25%	30.00%
<b>実質公債費比率</b>	5.3%	25.0%	35.0%
財政規模に対する <u>借入金返済割合</u>			
<b>将来負担比率</b>	31.1%	350.0%	—
財政規模に対する将来の <u>借入金返済割合</u>			
<b>資金不足比率</b>	—	20.0%	—
営業収益に対する各公営企業の <u>資金不足割合</u>	(資金不足なし)		

※1 早期健全化基準を超えると、財政健全化計画を策定し、議会の議決後、公表しなければなりません。

※2 財政再生基準を超えると、財政再生計画を策定し、議会の議決後、公表しなければなりません。また、市債の発行が制限されます。

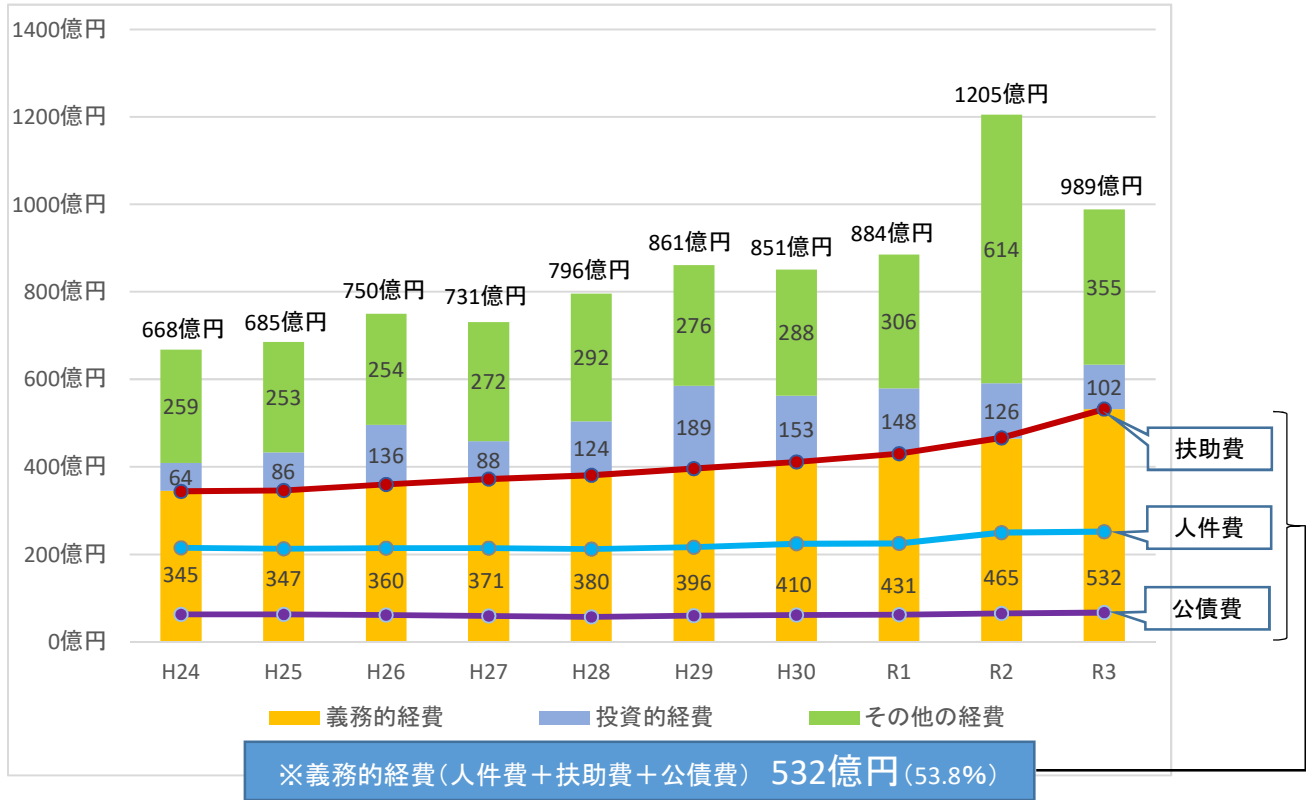


## 7 一般会計決算額と税収の推移

### 一般会計決算額（性質別）の推移

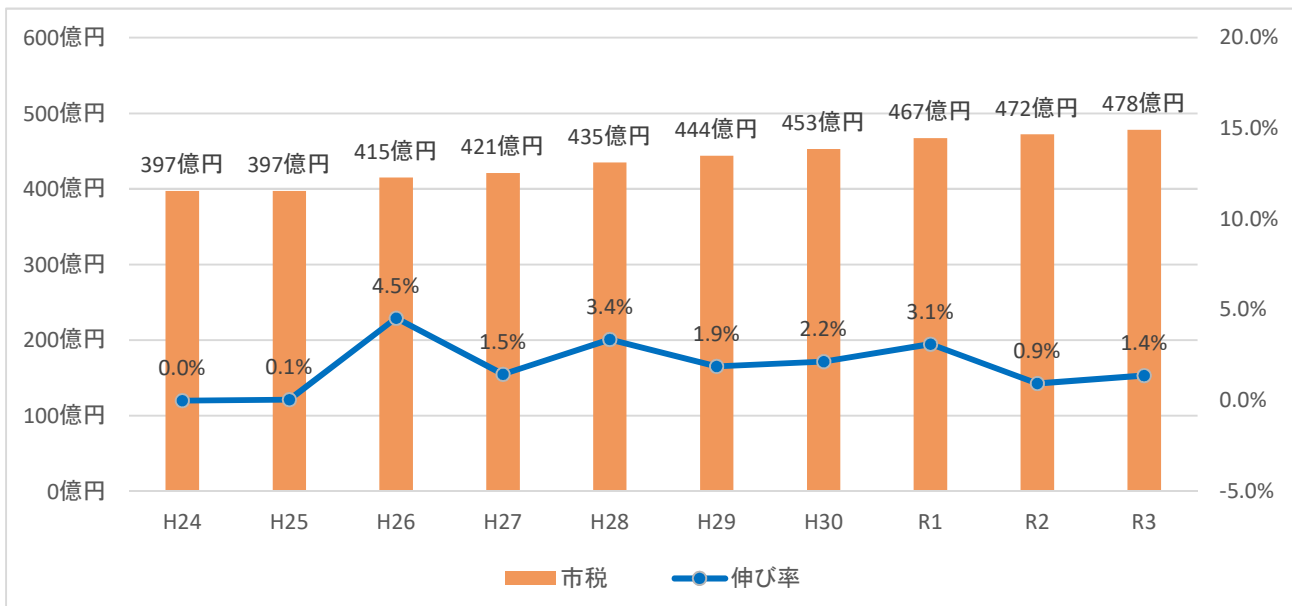
義務的経費の金額が大きくなってきています。中でも、特に扶助費が増加傾向にあります。

※令和2年度の大幅な増加は、一人当たり10万円を給付した特別定額給付金により『その他の経費（補助費等）』が大きくなったためです。



### 市税の税収額の推移

人口増加に伴い、市税も堅調に伸びています。10年間の平均伸び率は約+1.9%です。



## 特別編

つくば市の会計には、これまで説明してきた「一般会計」のほかに、「特別会計」と「公営企業会計」があります。「特別会計」と「公営企業会計」へは、一般会計から繰出金等がされます。

## 8 特別会計

### ○特別会計の主な内容

#### 国民健康保険特別会計

加入者が病気やけがのときの保険給付などを行っています。加入者の保険税などをもとに運営しています。

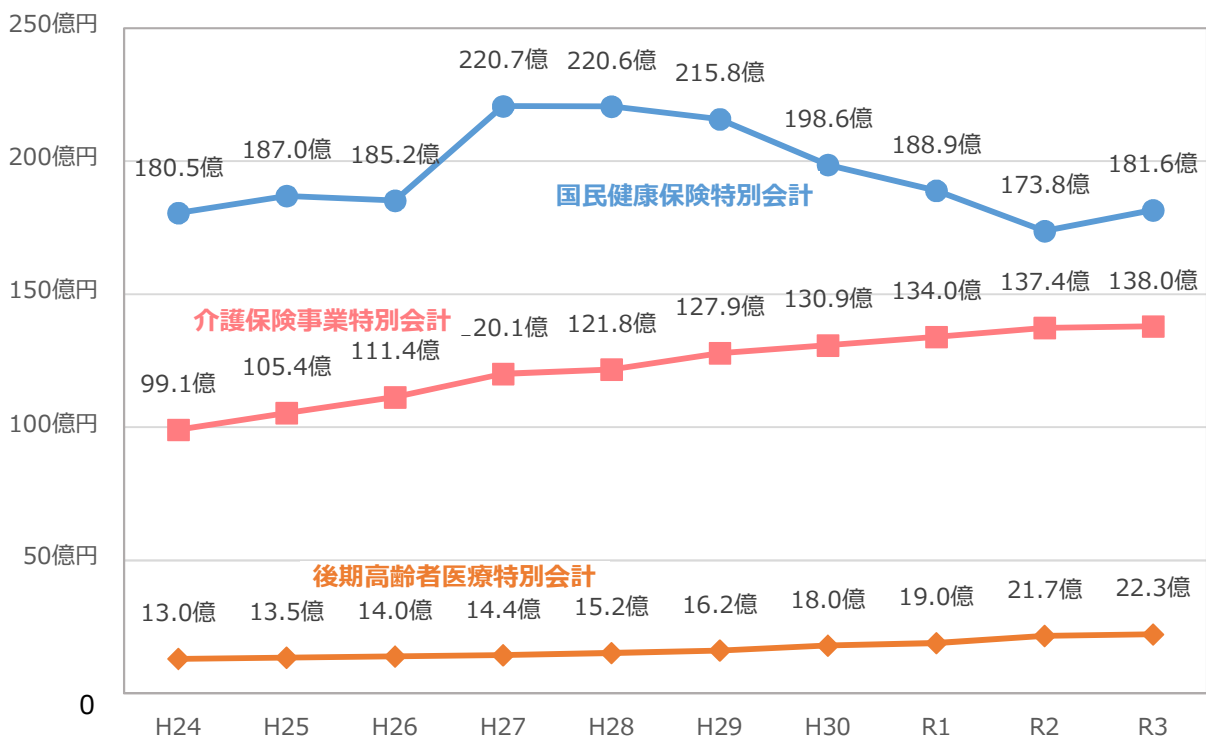
#### 後期高齢者医療特別会計

保険料の徴収などを行っています。加入者の保険料などをもとに運営しています。

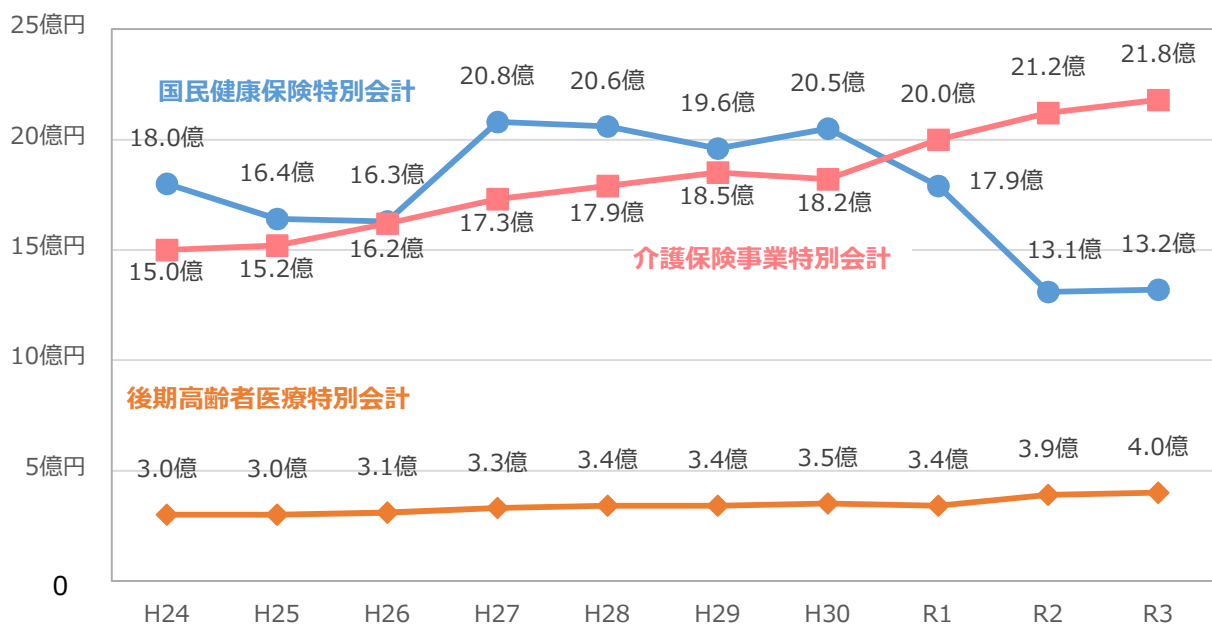
#### 介護保険事業特別会計

介護認定者への介護サービスなどを行っています。加入者の保険料などをもとに運営しています。

### 特別会計の歳出決算額の推移



## 特別会計への繰出金の推移



## 9 公営企業会計

### ○公営企業会計の主な内容

#### 水道事業会計

上水道の維持管理、整備などを行っています。水道の使用料などをもとに運営しています。

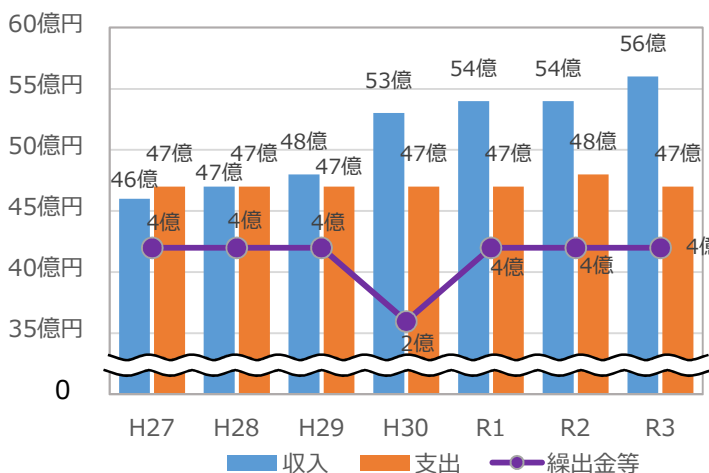
#### 下水道事業会計

下水道の維持管理、整備などを行っています。下水道の使用料などをもとに運営しています。

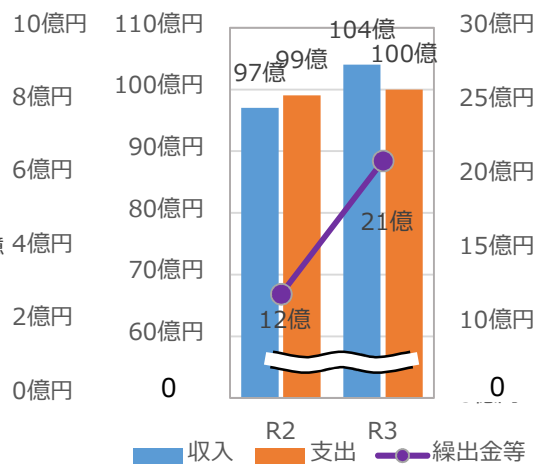
※令和2年度から、公営企業会計へ移行しました。

### 収入・支出・繰出金等の推移

#### 水道事業会計



#### 下水道事業会計



※平成30年度から水道の料金体系を改定したため、収入が増加しました。